

10 章 11-13 節 「すべてこの方に信頼する者は、恥を見ることがない。それは、ユダヤ人とギリシャ人の間に分け隔て（分離）はないからです。というも、同じ主がすべての人にとっての主であり、この方に呼びかけるすべての人に対して豊かであられるからです。それは、すべて主の御名を呼び求める者は、救われることになるから」

10 章 14, 15 節 「それでは、どのように呼び求めるのでしょうか、信じたことのない方を。どのように信じるのでしょうか、聞いたことのない方を。またどのように聞くのでしょうか、宣べ伝える人がいなければ。

またどのように宣べ伝えるのでしょうか、遣わされることがなければ。それはまさに書かれているとおりです、『なんと美しいことよ、良い知らせを伝える人の足は』と

10 章 16, 17 節 「しかし、すべての人が福音（良い知らせ）に従ったわけではありません。それはイザヤが言っているからです、『主よ、だれが信じましたか、私たちが聞いたことを』と。ですから、信仰は聞くことから、また聞くことは、キリストのことばをとおしてなのです」

10 章 18 節 「しかし私は言っています、彼らは聞いてなかったのだらうかと、もちろんそうではありません。『その響きは全地に響き渡った、彼らのことばは人の住む果てにまで』とあります」

10 章 19 節 「しかし私は言っています、イスラエルは知らなかったのではないかと。ただ最初にモーセは言っています、『わたしはあなたがたにねたみを引き起こすことになる、民ではない者たちのことで。愚かな民のことで、あなたがたを怒らせることになる』と」

10 章 20, 21 節 「またイザヤは大胆であり、そして語っている『わたしは見いだされる、わたしを捜さなかった者たちに。自分を現わした、わたしを尋ねなかった者たちに』と。そしてイスラエルのことについてこう言っています、『一日中、わたしは手を差し伸べていた、不従順で反抗する民に対して』と」

<引用聖句>

(ヨエル 2:32) 「主(ヤハウェ)の大いなる恐るべき日が来る前に、太陽は闇に、月は血に変わる。しかし、主(ヤハウェ)の御名を呼び求める者はみな(すべて)救われる。主(ヤハウェ)が言ったように、シオンの山、エルサレムには逃れの者がいるからだ。生き残った者たちのうちに、主(ヤハウェ)が呼び出す者がいる」

(マルコ 1:15) 「時が満ち、神の国が近づいた。悔い改めて、福音を信じなさい」

(ローマ 3:22-24) 「神の義がイエス・キリストの真実を通して、すべての信じる人に与えられた……それはすべての人が罪を犯して、神の栄光を受けるに値しなくなって

いるからです。それで、神の恵みによって価なしに義と認められることになりました」

(ヨエル 1:16,2:17) 「目の前で食物が断たれ…神の宮から喜びも楽しみも消え失せ…諸国の民の間で、『彼らの神はどこにいるのか』と「物笑いの種となっている」

(イザヤ 53:1-3) 「だれが信じましたか、私たちの聞いたことを。主(ヤハウェ)の御腕は、だれに現れたのか。彼は御前で若枝のように芽生えたが、乾いた地から出ている根のようだった。見とれるような姿も、輝きも彼にはなく、私たちが慕うような見えない。蔑まれ、人々からのけ者にされ、悲しみの人で、病を知っていた。人が顔を背けるほど蔑まれ、私たちも彼を尊ばなかった」

(イザヤ 53:4-6) 「まことに、彼が負ったのは私たちの病、担ったのは私たちの悲しみ。だが、私たちは、彼は罰せられたのだと思った、神に打たれ、苦しめられたのだと。しかし、彼は、私たちの背きのために刺し通され、私たちの咎のために砕かれた。彼への懲らしめが私たちの平和(シャローム)、その打ち傷が私たちの癒しとなった。私たちみな、羊のようにさまよい、おのおの自分勝手な道に向かって行った。そして、主(ヤハウェ)は、彼に負わせた、私たちみなを」

(詩篇 19:4) 「天は神の栄光を語り 大空は御手のわざを告げる。昼は昼へと話を取り次ぎ 夜は夜へと知識を伝える。話もなくことばもなくその声も聞かれないのに その響きは全地を覆い そのことばは世界の果てにおよぶ」

(ローマ 1: 19,20) 「神について知りうることは、彼らの間で明らかです。それは神が彼らに明らかにされたからです。それは、この方の目に見えない性質は、世界の創造のときから被造物を通して知られ、はっきり認められています、それは神の永遠の力と神性のことですが、彼らに弁解の余地はありません」

(申命記 32:16) 「異なる神々で主のねたみを引き起こし、忌み嫌うべきもので、主の怒りを燃えさせた」 (同 32:21) 「彼らは、神でないもので わたしのねたみを引き起こし、彼らの空しいものでわたしの怒りを燃えさせた。わたしも、民でない者たちで彼らのねたみを引き起こし、愚かな国民で彼らの怒りを燃えさせる」

(ローマ 9:23-25) 神が「ご自身の豊かな栄光の知らせる…あわれみの器」として、「ユダヤ人の中からだけでなく異邦人の中からも」召してくださったこと、「それはホセアにおいて、神が『わたしは呼ぶことになる、わたしの民でないものをわたしの民と、また、愛されなかった者を、愛される者と』言っておられる」ことの成就

(イザヤ 65:1, 2) 「わたしに問わなかった者たちにわたしを尋ねさせ、捜さなかった者たちにわたしを見つけさせた。わたしの名を呼び求めなかった国民に向かって、『わたしはここだ、わたしはここだ』と言った。一日中、反逆の民にわたしの手を差し伸べた。自分の思いに従って良くない道を歩む者たちに」